

近畿大学農学部公開講座

「植物と人間」

開催要領

日時 : 平成22年11月7日(日) 13時30分~15時30分

場所 : 奈良県文化会館(2階小ホール)

受講対象 : 一般

受講料 : 無料

定員 : 250名(先着順)

問い合わせ先 : 近畿大学農学部 TEL : 0742-43-1511

講演1 「植物を育てる科学-水やりの常識・非常識」

近畿大学農学部農業生産科学科

教授 林 孝洋

水は植物の物質輸送、光合成などの代謝、体温調節に重要な働きをしており、よく育っている植物はよく水を吸収・消費している。水のやり方次第で植物の生長は大きく左右されるが、根の構造と働きに基づいた正しい水のやり方は意外と知られていない。常識とされている水のやり方が植物生理学的には非常識な場合も多い。庭いじりや家庭菜園を楽しむ方々に水やりの極意を解説する。

講演2 「薬食の礎国一飛鳥・奈良」

近畿大学農学部応用生命化学科

教授 河村 幸雄

原始古代には食と薬の明確な区別は無く、今日の薬食同源の礎は、渡来人をルーツとする明日香、奈良の地にある。漢字の薬は、「草を楽しむ」、「草で楽になる」であり、植物(草)は薬の源である。葛(クズ)は、奈良を代表する食であり草(薬)である。葛は、骨を強くし、女性美を保つ健康の維持増進の食材であることが判ってきた。